

2020年4月23日

医療法人社団芙蓉会 二ツ屋病院
理事長・院長 西村勇人

新型コロナウイルス感染の当院の状況について

標記のことについて、当院では日頃から手指消毒、マスクの着用、環境整備などの感染対策を行ってきましたが、新型コロナウイルスの院内感染が発生いたしました。

患者様、ご家族様、医療機関の皆様方には大変ご迷惑をおかけいたしまして申し訳ございません。

当院では感染発生以後、石川中央保健所の指示に従い、感染が拡大しないよう対応いたしております。

昨日、4月22日（水）の入院患者46名の検査結果を受けて、今後、厚生労働省のクラスター班も関与していただく方針となります。引き続き、石川中央保健所の指示に従い、万全を期していく所存です。

1. 診療体制について

外来 原則電話での再診のみ
入院 新規入院患者受入れ中止
面会 引き続き全病棟面会禁止

2. 今後の対応について

石川中央保健所の指示に従い、これ以上感染が拡大しないよう、万全の対策に努めてまいります。

3. これまでの経過について

4月19日 看護系職員 1名陽性

4月20日 入院患者様 2名、看護系職員 4名、事務員 1名陽性

4月21日 看護系職員 3名陽性

4月22日 入院患者様 15名陽性（男性3名 女性12名）

70代 女性2名

80代 男性3名 女性4名

90代 女性6名

4. ご連絡について

患者様、ご家族、保健所、医療機関の対応を優先させていただきますので、大変申し訳ございませんが、十分な対応ができかねますのでご了承願います。

以上

2020年5月1日

医療法人社団芙蓉会

理事長・院長 西村 勇人

二ツ屋病院の状況について

まず、新型コロナウイルス感染症の影響で亡くなられた患者様に対して、謹んでお悔やみ申し上げます。また、新型コロナウイルス感染症を発症された患者様、職員、そのご家族に対して、一刻も早く回復されることを祈っております。

現在も、保健所と情報共有を図りながら感染拡大を防ぐため全力で対応しております。厚生労働省のクラスター班の方々とも協議をしましたが、明らかな感染経路については不明でした。ただし、当院で最初にPCR検査が陽性となった介護士が原因とは言い難いと考えられています。14日あたりに新型コロナウイルスが何らかの経路で当院に侵入し、それが伝播され、皆様に感染してしまったとの結論です。それ以上の詳細は不明です。

令和2年4月28日(火)までに全患者様、全職員の検査が終了したのですが、感染者は介護病棟中心ではあるものの、介護医療院に1名、1つの医療病棟に3名、もう1つの医療病棟に1名の陽性患者様が存在していました。これら介護医療院や医療病棟に勤めている職員は全員陰性でした。患者様の陽性について、どこから新型コロナウイルスが入り込んだのか、感染症専門の医師とも協議をしていますが、現段階では不明です。保健所、石川県にお願いして転院可能な患者様は県内感染症指定医療機関等への受け入れをお願いしております。

職員一同、感染を収束させるために努力しておりますが、現在、ガウン、手袋、アルコール消毒液などが不足しており、対応に苦慮しております。物品についてのご協力を頂ければ幸いです。

なお、当院職員の問題があります。当院職員の配偶者の会社からは、「家に二ツ屋病院に勤めている人が居るのであれば、自宅待機」という対応になっていることがあります。その職員が無症状で、PCR 検査陰性でも同様の対応になっております。そのため、当院では職員が寝泊まり可能な部屋を確保できるように動いておりますが、二ツ屋病院の職員ということで拒否される事実がありました。当院にて感染拡大を来した責任があることは重々承知ですが、このような対応をされてしまうと、現場で懸命に患者様に対応している職員の精神的ストレスが更に増大し、離職へとつながってしまいます。是非、皆で努力しているところです。お願いできる立場ではないかもしれませんが、何卒サポートの程、宜しくお願い申し上げます。

引き続き、保健所等と連携して対応していく所存です。

【経過】

4月19日 看護系職員1名陽性

4月20日 入院患者様2名、看護系職員4名、事務員1名陽性

4月21日 看護系職員3名陽性

4月22日 入院患者様15名陽性

4月25日 入院患者様1名、リハビリ療法士1名、看護系職員1名陽性

4月26日 入院患者3名、看護系職員2名、清掃員1名陽性

4月27日 入院患者2名、看護系職員2名陽性

4月28日 入院患者3名、看護系職員1名陽性

4月30日 入院患者1名陽性

2020年6月26日

医療法人社団 芙蓉会 ニツ屋病院
理事長・院長 西村 勇人

当院の新型コロナウイルス感染症について

この度は、皆様にご多大なご迷惑、ご心配をおかけしておりますことを、深くお詫び申し上げます。

今回、新型コロナウイルスに感染された患者様・利用者様におかれましては、一日も早い心身のご回復をお祈り申し上げますとともに、お亡くなりになられた方々とそのご遺族の皆様には、心よりお悔やみ申し上げます。

2020年4月19日(石川県の公表は20日)、当院職員の新型コロナウイルス感染が判明して以降、石川県や保健所、国のクラスター対策班のご助言やご指導を受けるとともに、県内の医療機関における感染患者様などの転院受け入れや、医療従事者の派遣を受けるなどの様々なご支援をいただき、感染対策に努めてまいりました。

その結果、当院においては、5月28日に1名の感染者が確認されて以降、4週間が経過した6月25日まで、新たな感染者が認められない状況となりました。

こうしたことから、石川県、保健所と相談した上で、転院先で治療された患者様・利用者様には、6月25日より順次、当院へ戻っていただくことといたしました。

患者様・利用者様の治療、対応にご協力いただいた感染症指定医療機関・協力医療機関 県内の感染管理認定看護師の方々をはじめ、ご尽力いただいた石川県医師会、河北郡市医師会、石川県看護協会、かほく市をはじめ手厚くサポートしていただいた地域の方々、当院に対し医療資材等を御提供頂いた方々や、励ましのお手紙を頂いた方々に厚く御礼申し上げます。

今後は、全職員が「感染をもらわない、広げない」という強い意志を持って、より一層の院内感染防止対策に努め、新型コロナウイルス感染症の第2波に備えて、万全を期してまいります。

当院の理念は「信頼、貢献」、2020年度の病院目標「病院に関わる皆が幸せになれる空間をつくる。地域の要望を積極的に聴き、安心、安全で愛がある環境をつくる。」です。

この理念と病院目標を原則として、皆様にご医療、介護を提供できるよう、全力で取り組んでまいります。今後とも何卒宜しくお願い申し上げます。

以上